

札商街角ウォッチャー調査結果（10月）

平成18年11月

札幌商工会議所 総合企画部

札幌街角ウォッチャー調査結果（10月）

調査概要



- 趣 旨 本調査は、一般消費者に近い立場にある方々の景気に対する実感を反映した動向調査で、現場で働く人々から、それぞれの仕事やお客様から感じる身の回りの景気動向についてお聞かせ頂き、結果を取り纏めて公表し、会員への情報提供に役立てるとともに、当所の景気判断の材料として諸事業活動に反映させています。
- 調査対象 市内及び周辺の13業種・15名をウォッチャーとして委嘱して調査を実施。
- 調査内容
 - ①現在の身の回りの景気について（景気現状水準判断）
 - ②前年同月と比べた景気動向について（景気現状判断）
 - ③3ヶ月後の景気見通しについて（景気先行き判断）
 - ④トピック
- 調査方法 調査は基本的に四半期毎に実施。

10月調査結果

問1) 今月のあなたの身の回りの景気は良いと感じますか、悪いと感じますか。

回 答	良い	やや良い	どちらとも いけない	やや悪い	悪い	合計
回答者	なし	ホテル(宴会) ボーリング場 美容室 観光ハイヤー 印刷会社	百貨店(婦人服) スーパー 飲食店B(地元客主体) ホテル(宿泊) ゴルフ場 新聞販売店	飲食店A(観光客主体) 旅行代理店(道内客) 理容室	なし	
配 点	5点	4点	3点	2点	1点	
回答数	0	5	5	3	0	14
点数計		20点	18点	6点		44点

景気の現状についての上記5段階の判断に、それぞれ5点～1点の点数を与え、平均値を算出しています。

今回調査(10月)	平均値 3.1		前回調査より平均値が0.3ポイント上昇し3を上回り、景気の認識水準が上がっていることを示している。
前回調査(7月)	平均値 2.8		前回調査時と同じ平均値であり、横ばいで推移している。
前々回調査 (H18年1月)	平均値 2.8		

※ 調査対象先(ウォッチャー)は前回(7月)より一部変更している。

問2) 今月のあなたの身の回りの景気は前年同月と比べて良くなっていると感じますか、悪くなっていると感じますか。

良くなっている	なし	
やや良くなっている	百貨店 (婦人服)	日ハムが、パリーグ優勝に続き日本一となったことで、記念セールを中心に客数が増加した。尚、気温も低くなり、ウールなど単価の高いものも含めてコートが大きく伸びている。
	ホテル(宴会)	本州の景気回復に伴い、本州からのインセンティブ旅行などが増加傾向にあるほか、本州客の客単価も上昇している。
	ボーリング場	近隣にあったボーリング場の閉鎖により、地下鉄が終了した深夜にもお客様が来るようになった。
	美容室	今年度に入ってから客単価の上昇が見られる。お客様がより質のよいものを選ぶ傾向が見られるほか、リラクゼーションメニューを追加するお客もあり、平均客単価上昇に繋がっている。
	観光ハイヤー	本州ゴルフ客によるジャンボハイヤー利用が増加しているほか、旭山公園や知床方面へのハイヤー利用客数も堅調である。
	印刷会社	隔年または数年に 1 回という案件を受注できたため前年より良くなっているが、中長期的な展望を考えると単発的で基盤ができていない。
変わらない	スーパー	前年比客数が漸減している中、食料品の消費動向に特に変化は見られない。
	ゴルフ場	来客数は天候によって左右される。10 月は台風、落雷等の影響により厳しかった。
	理容室	来客数など特に変化はない。
	新聞販売店	チラシは、パチンコなどで落ち込みが見られたが、日ハム関連のデパート、スーパーの売り出し広告があったため、全体では前年並み。尚、新聞購読数に変化はない。
やや悪くなっている	飲食店 A (観光客主体)	9月から10月は、観光客の来店が少なかった。愛知万博後の9、10月の来店が多かった昨年と比べるとかなりの落ち込みで、一昨年と比べてもやや悪い。
	飲食店 B (地元客主体)	日本ハムのプレーオフ試合日には、来客数が減少した。また、宴会予約が減ったほか、9月から10月にかけて観光客の来店も若干減少した。
	旅行代理店 (道内客)	観楓会パック旅行の売れ行きが大幅に前年を下回っているほか、航空会社が行った10月上旬の激安キャンペーンの影響で東京行きを中心にパック商品の売れ行きが落ち込んだ。また海外旅行では、道内発ハワイ等へのチャーター企画に売れ残りが続発した。一方、手頃な道内温泉パックは販売が増加している。
	ホテル (宿泊)	客室稼働率、宿泊単価ともに昨年を幾分下回っている。
悪くなっている	なし	

問3) 3ヵ月後のあなたの身の回りの景気は、今月と比べて良くなると思いますか、悪くなると思いますか。

良くなる	なし	
やや 良くなる	ホテル(宴会)	新年会シーズンに入るため、宴会需要が増える見込み。数年前には、法人が忘・新年会を差し控える傾向が見られたが、昨年あたりから回復してきたようだ。
	ボーリング場	新年会シーズンになるため、客足は増える見込み。
	美容室	客単価が上昇傾向であるほか、客数も堅調に推移している為。
変らない	百貨店(婦人服)	ファッションの売れ行きは気温にも左右されるが、今月の日ハム効果のような材料がないと、消費の拡大は難しい。
	スーパー	原油高による石油製品の値高傾向は今後も維持され、消費支出のバランスが悪いまま経過することが予想されるため。
	飲食店B(地元客主体)	新年会の予約が年々減ってきている中で、個人客を増やすためにセットメニューに工夫をこらすなど、同じ水準を維持する。
	旅行代理店(道内客)	道内景気が回復しない限り、見通しは良くならない。
	ゴルフ場	ゴルフ場業界はクローズに入り、営業的な動きがなくなるため変わらない。
	印刷会社	3ヶ月先は変化の兆しがない。現在取り組んでいる案件が結実するのは半年～1年後になる。
	新聞販売店	当面は、特に変化はないと思われる。
やや 悪くなる	飲食店A(観光客主体)	法人客の新年会はもともと多くないことと、スキー客の札幌滞在も、かつてのように多くないため。
	ホテル(宿泊)	例年同様、1月は宿泊客数がやや落ちる。大きな大会、スポーツ等のイベントも特にないため、やや悪くなる見込み。ただ、2月～3月にかけては、雪祭り、FISノルディックスキー、中国の旧正月などがあり、来札客数は増大する見込み。
	理容室	例年、寒い季節は暑い季節よりもお客様の来店間隔がやや長くなるため、若干客数が減少する見通し。
	観光ハイヤー	例年同様、冬期間は観光ハイヤーの需要が減少する見込み。冬場は道北・道東方面への利用は減少し、小樽や登別等の近距離の利用が主体になる。
悪くなる	なし	

問4) 特記事項・話題になっている事柄・出来事などがありましたら、お聞かせ下さい。

飲食店A (観光客主体)	<ul style="list-style-type: none"> ・数ヶ月前より、日により客数のばらつきが大きく、目先の売上見通しを立てづらくなっている。月単位で見ても予想がつきづらい状況。
飲食店B (地元客主体)	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の居酒屋に対抗し、料理5品に2時間飲み放題つき3,000円のセットを出している。客単価低下につながる懸念はあるが、昼のお客が夜に来店するきっかけになるなど、利用は堅調である。
旅行代理店 (道内客)	<ul style="list-style-type: none"> ・今冬の鳥インフルエンザ流行の危険度が高まっているとの新聞報道がある。万一日本国内に伝染すると、海外旅行需要が落ち込むばかりでなく、国内でも大規模な集会在制限されるなど人の動きが鈍り、業界に大きな打撃となる。
ホテル(宴会)	<ul style="list-style-type: none"> ・東札幌のコンベンションセンターをはじめ、札幌での学会開催が増えている様子。それに伴い、市内ホテルによるケータリングが増えているようである。 ・市内ホテル業界全体の動きとして、宴会利用の少ない日中の時間帯の稼働率を上げる為、会議用セットプランを企画するなど工夫をしている。
ホテル(宿泊)	<ul style="list-style-type: none"> ・8月後半から10月中旬までは、学会、イベント、大会、日ハムの主催試合などが継続的に開催されたため、市内ホテル全体の稼働率は例年より良かった様子。 ・市内ではビジネスホテルの建設が続いており、市内の客室数は増えている。オフシーズン(11月～4月)の間は、例年同様ビジネスホテル並みの低料金で対抗していく。
ゴルフ場	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフ場業界においても、今年も大手の撤退や民事再生法申請案件がいくつもあった。この冬にもそのようなことが起こらないか懸念される。
ボーリング場	<ul style="list-style-type: none"> ・夏場は暑かったため、ボーリング場をはじめ屋内娯楽施設は例年より客足が少なかった。
理容室	<ul style="list-style-type: none"> ・最近のお客様との会話は日ハムの話が多い。(直接売上には繋がらないが)景気回復のきっかけになって欲しい。
観光ハイヤー	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ハイヤーでは、ドライバーのサービスの質や、利用者に名刺を渡すなどの営業努力の仕方により、リピーターの獲得に大きな差が出ている。 ・市内タクシー業界全体の動向として、ここ1年位で7、8社のタクシー会社が新規参入しており、市場が拡大しない中で競争が激化している。
新聞販売店	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを利用した電子チラシ、地デジ放送によるテレビ広告、通信販売の一層の普及などにより、長期的に考えると、新聞折込チラシがそれらに取って代わられる可能性が大きい。今後4、5年で、広告媒体の大きな変化があるのではないかと予想される。

札幌商工会議所
札商街角ウォッチャー調査結果（10月）

平成18年11月1日 発行

【お問い合わせ・照会先】

札幌商工会議所 総合企画部
札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター
TEL：011-231-1330 FAX：011-222-5215
Mail：kikaku@sapporo-cci.or.jp